

# オンライン日本語誤用辞典 使い方（公開版 Ver.1.1）

## 目次

■ 検索画面について	2
■ 検索方法	
1 検索の基本	3
2 学習者情報と作文の課題	3
3 文字列を入力して検索する	
3.1 文字列の入力（語彙）	4
3.2 文字列の入力（文法）	4
3.3 検索の結果表示	4
3.4 詳細を表示	5
3.5 全文を表示	5
4 誤用の分野を限定して検索する	
4.1 3段階の分類	5
4.2 分類の詳細	6
4.3 検索画面上の分類の連動	6
5 誤用のタイプを限定して検索する	
5.1 6つの誤用タイプ	7
5.2 コロケーション・共起・呼応に関する誤用のタイプ	7
5.3 誤用タイプの詳細	
5.3.1 誤選択/誤選択+	8
5.3.2 誤付加/誤付加+	8
5.3.3 誤不足/誤不足+	9
5.3.4 誤形態/誤形態+	10
5.3.5 誤位置	11
5.3.6 誤文体	12
6 添削情報について	
6.1 添削情報（訂正）の表示と見方	12
6.2 添削情報（解説）の表示と見方	14

修正日：2012/3/17  
作成者：小柳昇

## ■ 検索画面について



- ① **検索文字列** : 単語や形態など文字列を入力して検索する
- ② **検索オプション** : 文字列検索をする際のオプション
- ・ あいまい 入力文字列を含む (デフォルト)
  - ・ 前方一致 入力文字列が前方部分と一致する
  - ・ 後方一致 入力文字列が後方部分と一致する
  - ・ 完全一致 入力文字列と完全に一致する
- ③ **学習者・作文情報** : 学習者の情報 (ID、母語)、作文情報で限定して検索する
- ④ **検索ボタン** : ①または⑤⑥で設定した条件に合う誤用例を検索する
- リセットボタン** : 一度セットした検索条件をリセットする
- ⑤ **誤用分類** : 誤用の分野を限定して検索するときを選択する
- ⑥ **誤用タイプ** : 誤用のタイプを限定して検索するときを選択する
- ⑦ **添削情報** : 誤用箇所がどのように訂正されたかを示す

## ■ 検索方法

### 1 検索の基本

基本的な検索方法は3つあります

The screenshot shows a search interface with the following elements:

- ① 検索文字列を入力**: A text input field for the search query.
- ② 誤用の分野を限定**: A dropdown menu for '大分類' (Major Category) with options: 1 文法, 2 語彙, 3 句・文全体.
- ③ 誤用タイプを限定**: A dropdown menu for 'タイプ' (Type) with options: 誤選択, 誤選択+, 誤付加, 誤付加+, 誤不足, 誤不足+.

Other interface elements include: '検索文字列' (Search text), radio buttons for search criteria (あいまい, 前方一致, 後方一致, 完全一致), dropdowns for '学習者ID', '母語', and '課題', and a '添削情報(訂正)' (Correction information) list.

### 2 学習者情報と作文の課題

学習者情報 (ID と母語) または作文の課題を限定して検索することができます。

The screenshot highlights the following filters:

- 学習者 ID**: A list of IDs including Kv\_001\_2009, Kv\_020\_2009, Ld\_001\_2008, Ld\_030\_2009, and Mc\_001\_2010.
- 母語**: A list of languages including English, Russian, Ukrainian, and Chinese.
- 作文の課題**: A list of topics including Motivation for studying Japanese, Opinion on the Media, Opinion on Doping, and Free Topic.

Legend for the ID format: **大学** (University), **学習者の識別番号** (Learner's identification number), **作文が収集された収集された年** (Year of collection).

国・地域	大学名 (記号)	学年	レベル	学習者の主な母語
英国	リーズ大学 (Ld)	3・4年生	中級～上級	英語
ウクライナ	キエフ国立言語大学 (Kv)	2～4年生	初級～中級	ウクライナ語・ロシア語
台湾	銘傳大学 (Mc)	2年生	中級	中国語

### 3 文字列を入力して検索する

#### 3.1 文字列の入力（語彙）

語彙について文字列検索する場合は基本的に辞書に登録されている形で入力します。

- ・「わかる」という動詞に関する誤用を検索する場合

検索文字列  
わかる  あいまい  前方一致  後方一致  完全一致

ひらがなが「わかる」でも漢字仮名交じり「分かる」でも OK

※通常カタカナで表記される語については平仮名かカタカナで入力

#### 3.2 文字列の入力（文法）

文法項目についても文字列を入力して検索できるようになっています。

※登録されているキーワード（KW）については別紙「誤用の分類」を参照してください。

- ・通常の語彙と区別するために検索の際にオプションを  完全一致 に設定すると目的の文法項目が高い確率でヒットします。

例) 助詞 {は、が、を、に、で} など、テンス・アスペクト {た} など、表現文型・接辞 {たい} など

検索文字列  
が  あいまい  前方一致  後方一致  完全一致

- ・通常の語彙と重なることが（ほとんど）ない形態についてはデフォルトの  あいまい を利用しても検索可能。

例) テンス・アスペクト {ている、である、ておく、てしまう} など  
表現文型・接辞 {だろう、はず、のだ} など

#### 3.3 検索の結果表示

文字列を入力後、**検索** ボタンを押すと、その条件に合う誤用例が表示されます。

- ・「わかる」の場合

該当箇所が赤でハイライトされます

クリックして全文を表示

誤用文

訂正文

学習者ID	全文	詳細	KWかな	KW漢字	誤用文	訂正文
Kv_024_2009	全文	詳細	わかる	分かる	でも、面白い日本の映画を見たい、日本人の性格をわかりたくまりました。	→ そんなとき、面白い日本の映画を見て、すぐに日本人の性格を理解したくなりました。
Ld_023_2009	全文	詳細	わかる	分かる	外国語を話せば他の人々の文化を分かりやすくなる。	→ 外国語を話せば他の人々の文化を理解しやすくなる。

クリックして詳細を表示

### 3.4 詳細を表示

検索結果画面の「詳細」をクリックすると<誤用の詳細>が表示されます。「添削情報」には「訂正」と「解説」の二つがあります。

#### 誤用の詳細

誤用文: でも、面白い日本の映画を見たい、日本人の性格をわかりたくなりました。  
訂正文: そんなとき、面白い日本の映画を見て、すぐに日本人の性格を理解したくなりました。

学習者ID	Kv_024_2009
母語	Russian
課題	Motivation for studying Japanese
大分類	2 語彙
中分類	2-1 動詞(和語)
小分類	
KWかな	わかる
KW漢字	分かる
タイプ	誤選択
添削情報(訂正)	分かる→理解する
添削情報(解説)	「～たい」と一緒に使う場合、「分かる」ではなく「理解する」のほうがいい。

何がどのように訂正されたか

なぜそのように訂正されたか

### 3.5 全文を表示

検索結果画面の「全文」をクリックすると全文が表示されます。

#### 全文表示

学校でどんな大学を選ぶについてながい時間が考えました。でも、面白い日本の映画を見たい、日本人の性格をわかりたくなりました。ですから、日本語を勉強するのは決めました。私の選択が正しかったと思います。今この語は大変勉強したいですが、たくさん情報や材料などが勉強しなければなりませんから、よく全部宿題のために時間がありません。大学を卒業したい、日本語を勉強しになるつもりです。時間がありますから。

## 4 誤用の分野を限定して検索する

### 4.1 3段階の分類

誤用の分野は「大」「中」「小」の3段階で分類されています。

検索文字列   あいまい  前方一致  後方一致  完全一致

学習者ID  母語  課題

大分類	中分類	小分類	タイプ	添削情報(訂正)
1 文法	1-1 取り立て助詞	1-1-1 は	誤選択	Adj-いた→Adj-い (Adj:たい)
2 語彙	1-2 格助詞	1-1-2 も	誤選択+	Adj-いた→Adj-い (Adj:ない)
3 句・文全体	1-3 終助詞	1-1-3 だししか	誤付加	Adj-いである→Adj-い (Adj:楽しい)
	1-4 複合辞	1-1-4 (その他)	誤付加+	Adj-そうだ→Adjのだ [...せいでのだ]
	1-5 フォイス	1-2-1 が	誤不足	NA-い+H→NA-な+N (NA:急速)
	1-6 テンス・アスペクト	1-2-2 を	誤不足+	NA φN→NA?N (NA:大切)

大分類

中分類

小分類

- ・「大分類」では大きく「文法」と「語彙」の2つに分かれており、どちらにも分類されない誤用例が「句・文全体」に登録されています。
- ・分類の項目を選択(限定)してから、検索ボタンを押すと、その項目に登録されている誤用例が表示されます。

## 4.2 分類の詳細

「大分類」の「1. 文法」と「2. 語彙」は、「中分類」「小分類」と別紙（誤用の分類）のとおり対応しています。

## 4.3 検索画面上の分類の連動

検索画面では、「大」「中」「小」の各分類項目は**連動**しています。

例えば、大分類で**文法**を選択すると、中分類には**文法**項目のみ表示され、さらにその中から**ヴォイス**を選択すれば、小分類には**ヴォイス**の項目のみが表示されます。

(初期画面)

大分類	中分類	小分類	タイプ	添削情報(訂正)
1 文法	1-1 取り立て助詞	1-1-1 は	誤置換	Adj-いだ→Adj-い (Adj:たい)
2 語彙	1-2 格助詞	1-1-2 も	誤置換+	Adj-いだ→Adj-い (Adj:ない)
3 句・文全体	1-3 終助詞	1-1-3 だけしか	誤付加	Adj-いである→Adj-い (Adj:楽しい)
	1-4 複合辞	1-1-4 (その他)	誤付加+	Adj-そうだ→Adjのだ [...せいであのだ]
	1-5 ヴォイス	1-2-1 が	誤不足	NA-に→NA-な (NA:急遽)
	1-6 テンス・アスペクト	1-2-2 を	誤不足+	NA φN→NAφN (NA:大切)
	1-7 基本文型	1-2-3 に	誤形態	NA φN→NAφN (NA:必要)
	1-8 表現文型・接辞	1-2-4 で	誤形態+	NAとN→NA, NA (NA:経済的)
	1-10 形式名詞	1-2-7 と	誤位置	NAような→NA φな (NA:日本的)
	1-11 指示詞	1-3-1 か	誤文体	Na φ→Naな (Na:なように) (Na:ラッキー)
	1-12 疑問詞	1-5-1 能動文	その他	N φN→NφN [世界中の人]
	1-13 2語の接続	1-5-2 自動詞・他動詞		N φN→NφN [動物の権利]
	1-14 2文の接続	1-5-3 使役		N φN→NφN [毎日の生活]
	1-15 修飾	1-5-4 受身・使役受身		N φN→NφN (N:国+文化)
	2-1 動詞(和語)	1-5-5 可能・自発		N φ→Nた (Nがと信じる) (N:新聞)
	2-2 動詞(漢語)	1-6-1 ル形(非過去形)		Nだ→Nな (Nなのは) (N:問題)
	2-5 イ形容詞	1-6-2 タ形(過去形)		NなN→NφN [普通のN]
	2-6 ナ形容詞(和語)	1-6-3 V-ている		Nな→Nに (Nに...がある)
	2-7 ナ形容詞(漢語)	1-6-4 V-である		Nことになる→Nだ/Nである
				NφN→連体修飾節+N
				N以来→Nの頃から [子供の頃から]
				Pはすで Q→Q, Pはすだ
				V+ことばかりでなく→V+たすたす
				V-eられない→V-eない (V:楽しむ)
				V-で、→V-のであって
				V-される→V-られる (V:信じる)
				V-したい→V-たらず (V:卒業する)

大分類で文法を選択

大分類	中分類	小分類	タイプ	添削情報(訂正)
1 文法	1-1 取り立て助詞	1-1-1 は	誤置換	NAとN→NA, NA (NA:経済的)
2 語彙	1-2 格助詞	1-1-2 も	誤置換+	N φ→Nた (Nがと信じる) (N:新聞)
3 句・文全体	1-3 終助詞	1-1-3 だけしか	誤付加	Nだ→Nな (Nなのは) (N:問題)
	1-4 複合辞	1-1-4 (その他)	誤付加+	NなN→NφN [普通のN]
	1-5 ヴォイス	1-2-1 が	誤不足	Nな→Nに (Nに...がある)
	1-6 テンス・アスペクト	1-2-2 を	誤不足+	Nことになる→Nだ/Nである
	1-7 基本文型	1-2-3 に	誤形態	NφN→連体修飾節+N
	1-8 表現文型・接辞	1-2-4 で	誤形態+	N以来→Nの頃から [子供の頃から]
	1-10 形式名詞	1-2-7 と	誤位置	Pはすで Q→Q, Pはすだ
	1-11 指示詞	1-3-1 か	誤文体	V+ことばかりでなく→V+たすたす
	1-12 疑問詞	1-5-1 能動文		V-eられない→V-eない (V:楽しむ)
	1-13 2語の接続	1-5-2 自動詞・他動詞		V-で、→V-のであって
	1-14 2文の接続	1-5-3 使役		V-される→V-られる (V:信じる)
	1-15 修飾	1-5-4 受身・使役受身		V-したい→V-たらず (V:卒業する)
		1-5-5 可能・自発		
		1-6-1 ル形(非過去形)		
		1-6-2 タ形(過去形)		
		1-6-3 V-ている		
		1-6-4 V-である		

連動して中分類には文法項目のみ表示

中分類でヴォイスを選択

大分類	中分類	小分類	タイプ	添削情報(訂正)
1 文法	1-1 取り立て助詞	1-5-1 能動文	誤置換	V-eられない→V-eない (V:楽しむ)
	1-2 格助詞	1-5-2 自動詞・他動詞	誤置換+	V-される→V-られる (V:信じる)
	1-3 終助詞	1-5-3 使役	誤付加	で→に [に 受動文] (V:考える)
	1-4 複合辞	1-5-4 受身・使役受身	誤付加+	他動詞→自動詞 [改良する→上達する]
	1-5 ヴォイス	1-5-5 可能・自発	誤形態	他動詞→自動詞 [直す→直る]
	1-6 テンス・アスペクト			他動詞→自動詞 [見つける→見つかる]
	1-7 基本文型			使役文→受動文/自動詞文 (V:実現する)
	1-8 表現文型・接辞			使役文→能動文 (V:勝つ)
	1-10 形式名詞			受動文→能動文 (V:支持する)
	1-11 指示詞			
	1-12 疑問詞			
	1-13 2語の接続			
	1-14 2文の接続			
	1-15 修飾			

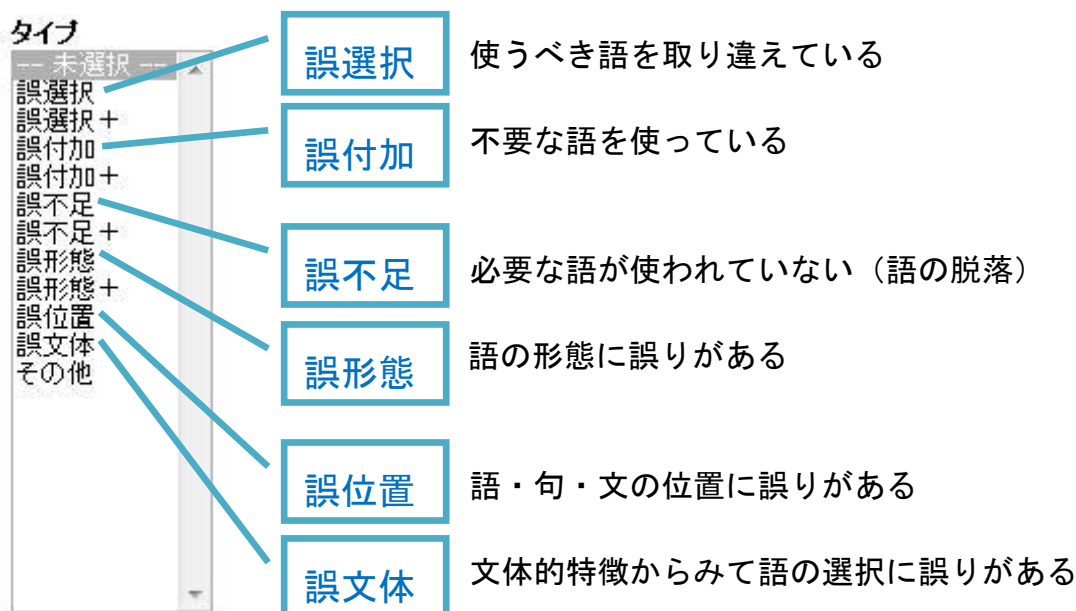
連動して小分類にはヴォイス項目のみ表示

## 5 誤用のタイプを限定して検索する

### 5.1 6つの誤用タイプ

誤用のタイプを限定して検索することができます。

誤用の分野とタイプの両方を限定して検索することもできます。



### 5.2 コロケーション・共起・呼応に関する誤用のタイプ

誤用のタイプには「+」がない通常のタイプ（下の①）と「+」がある特別なタイプ（下の②）があります。「+」の有無はデータベースに登録されている検索用キーワード（KW）と関係があります。

通常の誤用のタイプは間違っている語（形態）が検索 KW として登録されています。一方、「+」がある誤用タイプでは、間違っている語（形態）ではなく、それが間違っていると判断される原因、つまりコロケーション、共起、呼応する側が検索 KW として登録されています。

①通常の誤用のタイプ：誤用の箇所（赤でハイライト）に焦点を当てる

例：日本の友人のことに考える。→ 日本の友人のことを考える。

KW：に タイプ：誤選択 訂正：に → を

②「+」があるタイプ：誤用の判定に関わるコロケーション、共起、呼応する側（赤でハイライト）にも焦点を当てる

例：日本の友人のことに考える。→ 日本の友人のことを考える。

KW：考える タイプ：誤選択+ 訂正：に → を [を考える]

### 5.3 誤用タイプの詳細

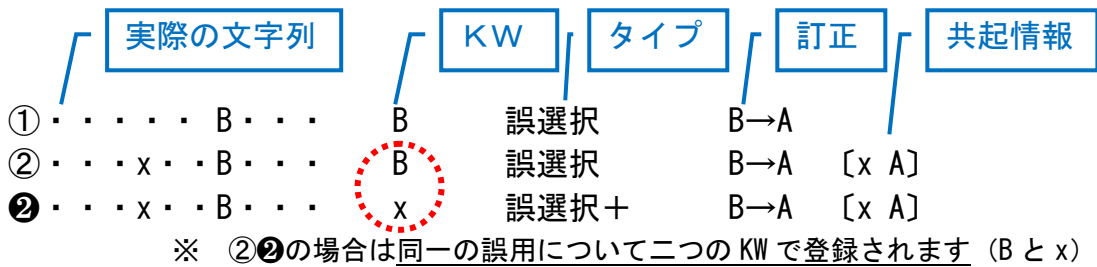
各誤用のタイプの「意味」と「KW」「添削情報（訂正）」の相互関係は次のとおりです。（※添削情報の詳細は6.1節を参照してください）

#### 5.3.1 誤選択/誤選択+

・意味

- ① A を使うべきなのに、B を使う
- ②② x は A と接続・共起・呼応するのに、B を使う

・KW とタイプと添削情報（訂正）の相互関係



・誤用例（上段：実際の文字列 下段：KW、タイプ、訂正、共起情報など）

- ①イギリスのステレオタイプと本格的なイギリスは全く違うと思うが、

ほんかくてき/本格的      誤選択      本格的な→実際の

- ②もし大学を卒業しても良い仕事を見つけるのは保障されていない。

もし      誤選択      もし→た      [た...でも]

- ②②もし大学を卒業しても良い仕事を見つけるのは保障されていない。

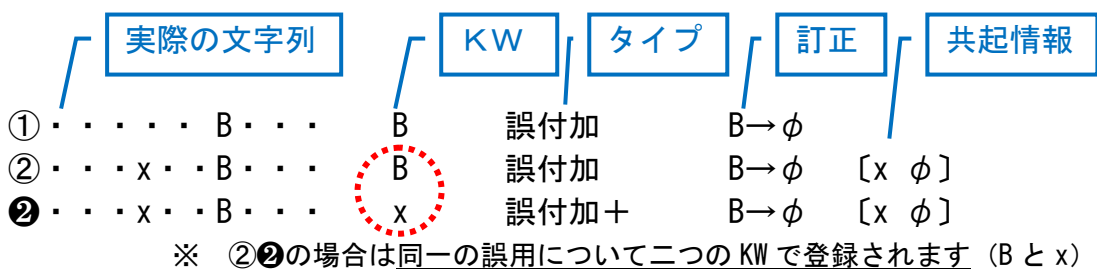
ても      誤選択+      もし→た      [た...でも]

#### 5.3.2 誤付加/誤付加+

・意味

- ① B は不要なのに、B がある
- ②② x は B と接続・共起・呼応しないのに、B がある

・KW とタイプと添削情報（訂正）の相互関係





・誤用例

①日本語で使う英語の言葉は明治維新後以来、急に増加した。

いらい/以来      誤付加      以来→φ

②将来にある日本の町できっと住みたいです。

に      誤付加      に→φ      [将来φ]

②将来にある日本の町できっと住みたいです。

しょうらい/将来      誤付加+      に→φ      [将来φ]

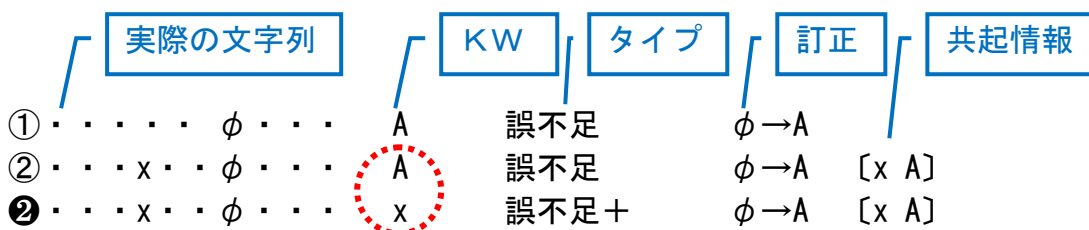
5.3.3 誤不足/誤不足+

・意味

① Aが必要なのに、Aがない

②② xはAと接続・共起・呼応するのに、Aがない

・KW とタイプと添削情報（訂正）の相互関係



※ ②②の場合は同一の誤用について二つのKWで登録されます (A と x)

・誤用例

①言葉の変化は想像的φより、脅迫的なものだと思われる。

より      誤不足      φより→というより

②私の夢は日本の家のゆめいな屋根を見ますφ。

こと      誤不足      φ→こと      [夢は…ことだ]

②私の夢は日本の家のゆめいな屋根を見ますφ。

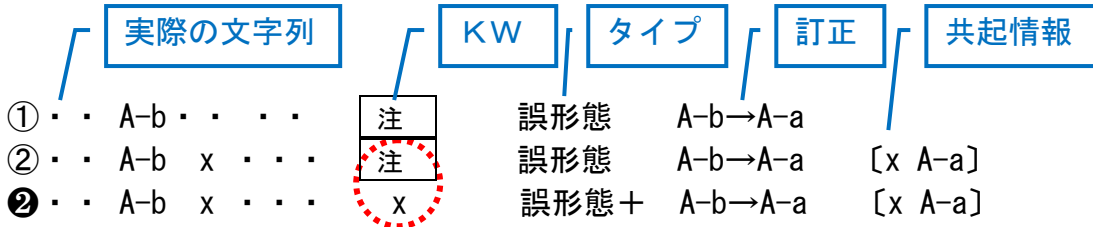
ゆめ/夢      誤不足+      φ→こと      [夢は…ことだ]

### 5.3.4 誤形態/誤形態+

・意味

- ① A-a (a-A) という形態が正しいのに、A-b (b-A) になっている
- ②② xはA-a (a-A) という形態に接続するのに、そうならない

・KW とタイプと添削情報（訂正）の相互関係



※ ②②の場合は同一の誤用について二つのKWで登録されます (□とx)

**注**：「誤選択」「誤付加」ではKWには誤った箇所の形態が登録されますが、この誤形態では原則的に訂正された形 (A-a) が登録されています。

・誤用例

- ①巨大なさらではなくて**普通な**皿を選んだりした。

な                                      誤形態      NなN→NのN      [N：普通]

- ②「The Sun」は勝つ党を支持している新聞だと信じ**されている**。

うけみ/受身                      誤形態      [V-される→V-られる] (V：信じる)

- ②伝統的な文化と現代文化などは**面白いだ**と思った。

こうていぶん/肯定文              誤形態      Adj-いだ→Adj-い (Adj：面白い)

- ②②いい仕事をしたという願いを**持つがち**である。

がち                                      誤形態+      V-スルがち→V-シがち      (V：持つ)

・誤選択と誤形態の区別

文法に関する誤用で「誤選択」と「誤形態」は重なる部分があるが、この誤用辞典では、原則として次のように区別して登録している。

「誤選択」とはAとBの二つの語（形態）（またはそれ以上）がある場合に、どちら（またはどれ）を選ぶかについての誤用。それに対して、誤形態とはそもそもそのような形態が誤っている場合の誤用である。したがって、次のような誤用はこの誤用辞典では形態そのものが誤っているわけではないので、適切な形態の選択を誤ったと考えて、「誤選択」に分類されている。

<誤選択に分類されている例>

(1) 過去形にしなければならないのに、非過去形（現在形）になっている。

例) 訂正内容：ル形→タ形

登録内容：

KW	大分類	中分類	小分類	タイプ
る	文法	テンス・アスペクト	ル形（非過去）	誤選択

(2) 「～ている」を使わなければならないのに、使われていない。

例) 訂正内容：V-スル→V-ている（V：覚える）

登録内容：

KW	大分類	中分類	小分類	タイプ
る	文法	テンス・アスペクト	ル形（非過去）	誤選択

(3) 受身文にしなければならないのに、そうになっていない。

例) 訂正内容：基本文→受身文（V：しかる）

登録内容：

KW	大分類	中分類	小分類	タイプ
きほんぶん	分類	ヴォイス	受身・使役受身 (基本文)	誤選択

・誤選択と誤不足/誤付加の区別

上述のように誤選択と誤形態は区別されるが、誤不足と誤付加との違いについても紛らわしい場合がある。本コーパスでは原則として「同じレベルの文法範疇」で捉えられる場合には、誤選択とみなし、何かが不足または過剰と捉えられる場合には誤不足と誤付加に分類する。

<誤選択>に分類

テンス：ル形 対 タ形、ヴォイス：基本文 対 受身文・使役文

アスペクト：ル形 対 タ形・ている形、など

<誤付加><誤不足>に分類

アスペクト：ル形・タ形 対 ~~てしまった・しておく・～始める~~、など

### 5.3.5 誤位置

・意味

語・句・文の位置に誤りがある。

・誤用例

**みんな**の学生はせめて一つ外国語を勉強するべきだと思う。

みんな	誤位置	みんなのN→Nはみんな
-----	-----	-------------

この時代の人々はラッキーだと思う**ので**今日旅は実に手軽である。

ので	誤位置	XのでY→YのでX
----	-----	-----------

### 5.3.6 誤文体

- ・意味

文体的特徴からみて語の選択に誤りがあるか、または文中の丁寧体と普通体の誤り。

- ・誤用例

例：よく目的に到達するために大変丹精する必要がある。

たんせいする/丹精する      誤文体      丹精する→努力する

例：でも、動物は権利がないからといって、残酷に扱うのが正当だと言うわけではない。

でも      誤文体      でも→しかし

例：お金を使いすぎますと、一生お金持ちになれないです。

と      誤文体+      V-しますと→V-すると

- ・丁寧体（です・ます）と普通体に関する誤りについて

この誤用辞典では、文末の述部についてこの二つの文体に関する誤用例を抽出していない。

## 6 添削情報について

### 6.1 添削情報（訂正）の表示と見方

- ・記号について

→	: 左から右へ訂正	φ	: ゼロ（なし）
[   ]	: 正用の共起情報	【   】	: 訂正の具体的情報
(   )	: 単語の具体的情報		
N	: 名詞	NA	: ナ形容詞
Adj	: イ形容詞	Ad	: 副詞
V	: 動詞	VN	: 動名詞
V-スル	: 動詞終止形	V-シ	: 動詞連用形
X Y	: 任意の単語	P Q	: 任意の単語

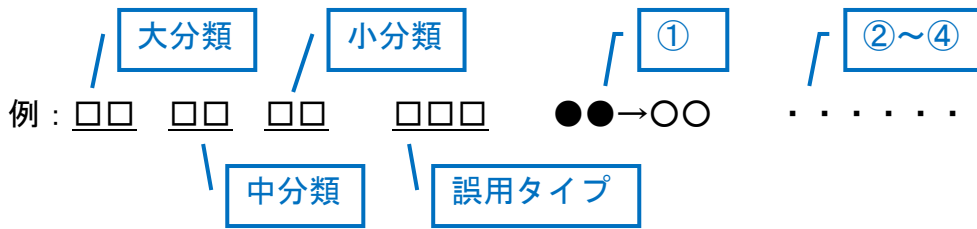
- ・表示の基本パターン

添削情報（訂正）は基本的に①～④の4つのパートから成っています。

①が基本で、②～④がオプションです。誤用の分野・タイプによって、①～④が組み合わせられて表示されます。

- ① 訂正情報                   : ●●→○○
- ② 訂正の具体的情報       : 【■●→□□】
- ③ 共起情報                   : [△△○○]
- ④ 単語の具体的情報       : (V : ×××)

・ 具体例



①のみ

・ 語彙	名詞		誤選択	今時→今
・ 文法	表現文型・接辞	のだ・んだ	誤付加	のだろう→φだろう

①+③

・ 文法	格助詞	に	誤選択	に→で	【で一番…】
・ 文法	修飾	連体修飾	誤不足	NφN→NのN	【世界中の人】

①+④

・ 文法	修飾	連体修飾	誤付加	VのN→VφN	(V: 勉強する)
・ 文法	格助詞	に	誤選択	にVN→へのVN	(VN: 服従)

①+③+④

・ 文法	格助詞	で	誤選択	で→に	【に 受動文】 (V: 考える)
・ 文法	修飾	連体修飾	誤形態	Naφ→Naな	【Naなように】 (Na: ラッキー)
・ 文法	テンス・アスペクト	ル形 (非過去形)	誤選択	ル形→タ形	【V-た際に】 (V: 起きる)

①+②

・ 文法	2文の接続	時	誤選択	時→逆接	【それから→けれども】
・ 文法	修飾	連体修飾	誤選択	連体修飾→連用修飾	【いろいろな→いろいろ(と)】
・ 文法	ヴォイス	自動詞・他動詞	誤選択	他動詞→自動詞	【見つける→見つかる】

①+②+④

・ 文法	ヴォイス	基本文	誤選択	基本文→受益文	【ている→てくれる】 (V: 支援する)
・ 文法	2文の接続	条件	誤選択	条件→時	【V-ば→V時は/V-なら】 (V: 話す)

・ 複数の添削情報（訂正）

一つの誤用について添削が複数可能な場合には、「訂正文」に代表的な訂正を記載し、「添削情報」に関連情報を付記しています。

1) 添削情報（訂正）で複数の訂正があることを ‘ / ’ で表示

条件→時【V-ば→V時は/V-なら】（V：話す）

2) 添削情報（訂正）では代表的なものを表示し、添削情報（解説）で扱う

次の文とのつながりを考えると、ここで「～ない」と言い切るのは不自然。「～はずだ」を使ってもいい。

## 6.2 添削情報（解説）の表示と見方

・ 定型表現

添削情報（解説）では各誤用例に即した解説とは別に、次のような定型表現が用いられています。 [上段：添削情報（訂正） 下段：添削情報（解説）]

コロケーション

開発する→設立する

コロケーション「会社を設立する」

文型

に→で [で一番…]

文型「～で一番…だ」

複合辞

を基づいて→に基づいて

複合辞「～に基づいて」

呼応

きっと→ぜひ [ぜひ…たい]

呼応「ぜひ～たい」

慣用句

今で→今に

慣用句「今に始まったことではない」

・ 非文と不自然の扱い

この誤用辞典では非文だけでなく、日本語として不自然だと判断されるものも「誤用」として取り扱っています。ただし、その不自然さは比較的高いものに限定しています。

非文ではなく、不自然だと判断された「誤用」については、「添削情報（解説）」で次のように「～のほうが自然」また「～のほうがいい」と書かれています。

「●●」でも間違いではないが、「○○」のほうが（より）自然/いい。

「○○」はなくても間違いではないが、（…ので、）「○○」のほうが（より）自然/いい。